

Illustrator でデータを作成される際にお読みください。

テンプレートについて

●A4 クリアファイル製品仕様

仕上がりサイズ：220×310mm（展開：440×310mm、断ち落とし設定 3mm）

必要入稿データ

- ☐ AI データ（ご使用の最新 Ver. にて保存してください。）
- ☐ カラー版見本（白版レイヤーを非表示にした状態で、PDF または スクリーンショットした画像）
- ☐ 白版見本（カラー版レイヤーを非表示にした状態で、PDF または スクリーンショットした画像）

※白版なしの場合は、白版見本は不要です。ご注文時に「白版不要」とご連絡ください。

データ作成時のチェックポイント

<レイヤーパレットについて>



トンボ・アタリレイヤー

印刷に必要なトンボと、仕上がりの抜きの目安になるアタリのレイヤーです。
このレイヤーは一切の変更を禁止しています。ロックを解除しないでください。
（誤作業防止のため、初期状態ではロックがかけてあります。）

後白版レイヤー（白版不要の場合は、このレイヤーを削除し白版不要とご連絡ください）

カラー版のデザインを透けない仕上がりになりたい場合、ここに **K で白版データを作成** してください。グラデーションやKの%を下げることで、半透明のデザインも可能です。
また、**白で表現したいデザインもこのレイヤーにKで作成** してください。
（カラー版に白でデータを作成されていても、後白版レイヤーに白版データが作成されていない場合、仕上がりは「透明」になります）

カラー版レイヤー

絵柄のデザインはこのレイヤーに行ってください。
このレイヤー内のものはすべて印刷されます。
アタリやメモ書き、透明擬似のグレー等を入れないでください。
不要なレイヤーやオブジェクトは削除してください。

塗り足し

仕上がり線ギリギリまで絵柄を入れたい場合、仕上がり線より3mm外側までデザインを作ってください。

<デザインと仕上がりアタリについて> **大まかなポイントは5つ！**



白版とは

普段紙に印刷をする時、白い部分は紙の白色を使用し表現されます。

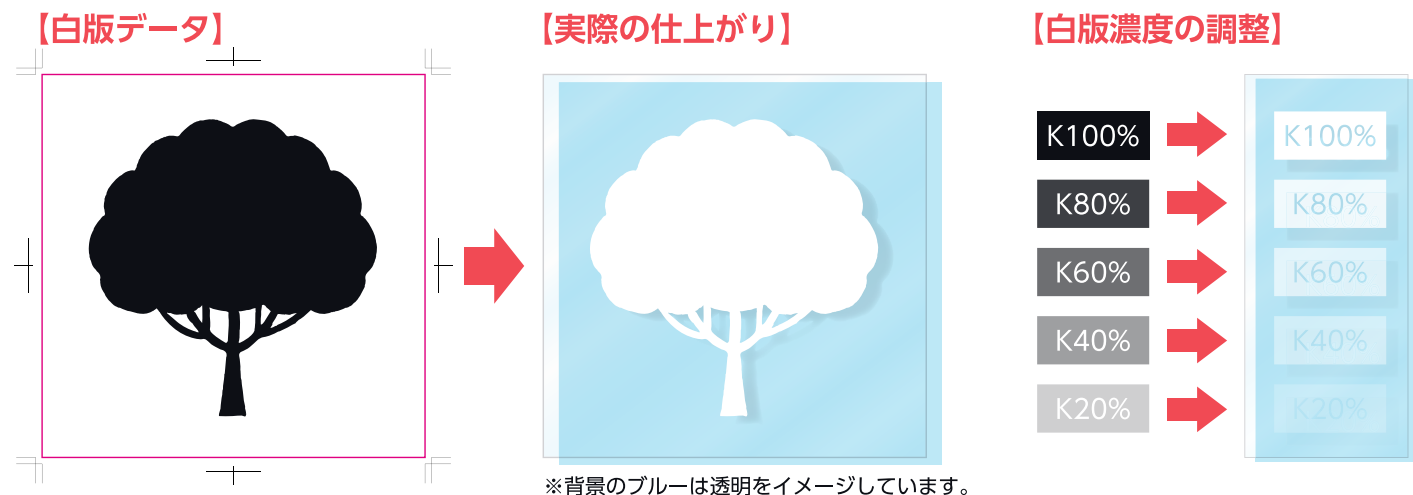
一方、クリアファイルは透明な素材に印刷するため、CMYK カラーのみで印刷した場合、カラーの色も透けた色になります。(ステンドグラスの様なイメージ)

また、モニターや紙の上で白色になっている部分は何も印刷されず透明になってしまいます。

そのため、透けさせたくない部分や白くしたい部分は、白色を印刷する必要がある、そのことを白引きと呼びます。この白引きする部分を指定した版が「白版 (しろはん)」です。

白版では、K100%で制作いただいた箇所が白インク 100%で印刷されます。

Kの%を変えることで、白版の濃度も調整可能です。 例：K30%のデータでは白濃度 30%で印刷されます。



Tips 効果的な白版の作り方

全面白

全面に白を引くことで絵柄をくっきりと見せることができます。



半面白

半面に白を引くことで中の書類を確認しやすくなります。



部分白

絵柄の下に部分的に白を引くことで素材の透明感を活かしたデザインに！

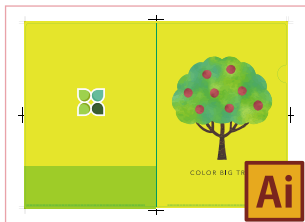


白版なし

白版を印刷せずに、カラー版のみ印刷も可能です。ご注文時に「白版不要」とご連絡ください。

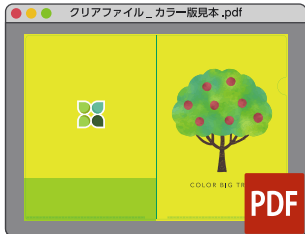


ご入稿に必要なデータは揃っていますか？



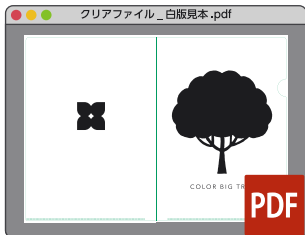
☐ AI データ

- ・ご使用の最新 Ver. にて保存してください。
 - ・トンボ、アタリ、カラー版、後白版の 4 レイヤーのレイヤー構成としてください。
- ※白版が不要な場合は、トンボ・アタリ・カラー版の 3 レイヤーの構成としてください。



☐ カラー版見本

- ・白版レイヤーを非表示にした状態で、PDF または スクリーンショットした画像



☐ 白版見本

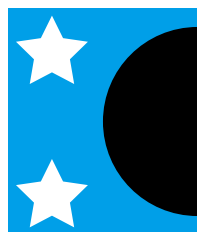
- ・カラー版レイヤーを非表示にした状態で、PDF または スクリーンショットした画像
- ※白版なしの場合は、白版見本は不要です。ご注文時に「白版不要」とご連絡ください。

｜ オーバープリントについて

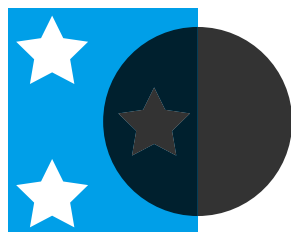
この商品は、黒色（K100%）のオブジェクトに、オーバープリント処理を行います。

オブジェクトが重なっている場合、黒色が透けて印刷されます。

オーバープリント処理を避けたい場合は、黒色（K100%）に別の色（シアン1%など）を加えてください。



デザインデータ



仕上がリイメージ

｜ データ入稿前のチェックポイント

【文字・オブジェクトについて】

- ・全ての文字は、**アウトライン化**をしてください。
- ・線の太さは、**0.2pt 以上**にしてください。線の太さが0.2pt 未満の場合、一律0.2ptに変換されます。
- ・パターンが使用されている場合、**分割・拡張**をしてください。
- ・全ての**アピアランスを分割**してください。
- ・後白版オブジェクトは、カラー版オブジェクトよりも**-0.1mm オフセット**にしてください。
- ・**非表示オブジェクト**は、印刷されません。
- ・**不透明マスク**のリンクを、設定してください。リンクが切れてる場合、移動させるとオブジェクトが付いてきません。

【色について】

- ・カラーモードは、**CMYK**にしてください。
- ・**4色ベタ（C100%/M100%/Y100%/K100%）**は、しないでください。
※意図的にリッチブラックを使用する場合は、C40%/M40%/Y40%/K100%を推奨します。
- ・インキ総量の上限基準は、**350%**です。
- ・黒（K100%）は、自動的に**ブラックオーバープリント**に設定されます。
- ・製版時にエラーとなるため、属性の塗り・線のオーバープリントのチェックを外してください。
- ・**パレットの未使用項目**を削除して下さい。

【画像について】

- ・リンク画像は**埋め込み**してください。ただし、eps・aiは埋め込まないでください。
※リンクされた状態で、Ai上で拡大縮小されている場合、埋め込むことで線の太さが変わることがあるため。
- ・画像解像度は、原寸で**約300～350dpi**を推奨します。
- ・画像のカラーは、**CMYK**にしてください。

【その他について】

- ・**テンプレートの情報（線・説明文・レイヤーなど）**は、移動・削除をしないでください。
- ・**お使いのバージョン**で、保存してください。

白版について

白版（白引き）とは

デザイン（画像・イラストなど）に白色がある場合、素材は透明なので、白色を印刷する必要があります。
白を印刷するためのデータ（白版データ）を、「先・後白版」レイヤーに作成します。

白版の作成方法について

白版データを、デザインデータと同じ大きさで作成する場合、印刷時のズレによって、白がはみ出る恐れがあります。
白版データのサイズは、**デザインデータの「-0.1mm」内側**にしてください。
また、白版データの色は、**黒（K100%）**にしてください。

clear file *clear file*

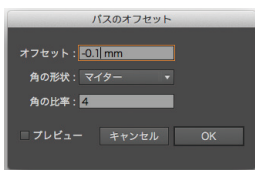
デザインデータ

白版データ(デザインデータの「-0.1mm」内側・K100%)

clear file

デザインデータと白版データを重ねたときの見え方

※分かりやすいように、白版データを前面にしていますが、本来は白版データが背面になります。

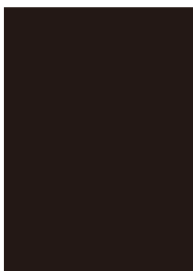


詳しい作成方法

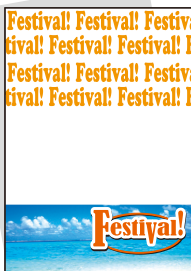
「白版を入れたいデザインをコピー」→「前・後白版レイヤーにペースト」→
「メニューバー」→「オブジェクト」→「パス」→「パスのオフセット『-0.1mm』」→
「元のパスを削除」→「白版データの色を、黒（K100%）にする」

白版データの様々なパターン

1 全面に白を引くと透けにくくなります

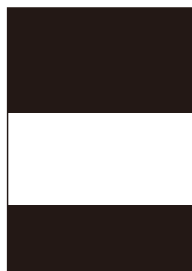


白版データ



仕上がリイメージ

2 白を引かない部分は透けます



白版データ



仕上がリイメージ

3 文字・デザイン以外は透けます



白版データ

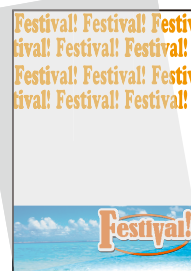


仕上がリイメージ

4 全面に白を引かないと全て透けます



白版データ



仕上がリイメージ